

健康領域研究会報告

代表 中塘二三生

期日：平成 26 年 11 月 29 日

場所：近畿大学会館

演者：三村寛一先生（本学会理事、大阪教育大学名誉教授、大阪成蹊大学副学長）

演題：「子どもの健康と発育・発達を考える～42 年間の研究・教育を通して～」

講演の概略：三村寛一先生が 42 年間の研究・教育を通して、子どもの健康と発育・発達について講演して頂いた。主な内容としては、幼児および子どもを対象とした健康と運動能力、生活習慣記録装置（ライフコーダー）を用いた身体活動量や骨密度、中高年女性を対象とした体力と生活・運動習慣、転倒予防、健康増進システムの構築など多方面から講演された。また、カナダの McMaster 大学に留学されたときの研究内容や指導教員の Oded Bar-Or 教授の紹介などもされた。同教授を「オデット」と呼ばれ、かなり親しいことが伺えた。

本研究会には、大阪体育学会会員のみならず社会人や学生も含めて 50 名を超える参加者があり、しかも「子どもの教育法にとって重要なこと」「三村先生が 42 年間の研究・教育においてこころがけで来られたこと」「42 年間の研究・教育で最も印象に残っていること」、等など多くの質問があり、この質疑応答からも今後の教育・研究にとって貴重な示唆をされた。約 1 時間の講演では、安部恵子先生（大阪成蹊大学教育学部学科長、子ども教育研究所副所長）による絶妙なモニター操作ながらも、時間が足りず再度講演を願い、三村先生の研究・教育内容によるさらなる研究会を設けたいように思われた。

本研究会最後には、伊藤章会長による御礼の挨拶とともに、三村先生の膨大な研究・教育の背景には「こころがけ」や「仲間との成果」であることを強調されたことが印象的であった。